

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

現在、愛和病院では、当院で保管している診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する検体と診療情報等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、当院倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 終末期患者の褥瘡について

[研究対象者] 2023年6月から2023年12月の間に愛和病院に入院された年齢20歳以上の患者さんを対象とします。

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：

- |  |   |
|--|---|
| ① 診断名  | ⑧ 画像診断検査結果 (magnetic resonance imaging (MRI)、大腸内視鏡検査、造影 X 線検査、computed tomography (CT)、造影 X 線検査、単純 X 線検査) |
| ② 性別   | ⑨ Stage分類 (癌進行度)  |
| ③ 手術前の年齢   | ⑩ 生存の有無   |
| ④ 身長   | ⑪ 最終生存確認日   |
| ⑤ 体重   | ⑫ 再発日   |
| ⑥ 手術情報   | ⑬ 死亡日 ... 等   |
| ⑦ 血液検査結果 (白血球数、血液像、血中ヘモグロビン濃度、赤血球数、GOT、GPT、尿素窒素、クレアチニン、総ビリルビン値、CRP、総コレステロール値、血清アルブミン値、血清コリンエステラーゼ値、Zn) |   |

[利用の目的] 終末期癌患者様の褥瘡発生頻度は高いことが知られています。また、褥瘡は、栄養失調や体力低下によって引き起こされ、それらは治癒阻害因子となりうるとされています。現在、癌終末期患者様において褥瘡が起きやすい方がどのような方なのかや、褥瘡が発生した後の経過等について明らかになっていません。今回、終末期癌患者の褥瘡について調査し、臨床的な意義を含め、明らかにするため検討を行います。

(遺伝子解析研究： 無) (営利企業との共同： 無)

[利用期間] 2023年12月より2026年3月までの間 (予定)

[この研究での診療情報等の取扱い]

当院倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：愛和病院 院長 山田 泰史

研究内容の問い合わせ担当者：愛和病院 院長 山田 泰史

電話：026-226-3863 (応対可能時間：平日9時～16時)